

体位変換付き
高機能エアマットレス

オスカー メディカル

【コンパクト収納タイプ】

※2024年2月より、【エアタイプ】は【コンパクト収納タイプ】と名称を変更しました。

取扱説明書

目次

○注意事項	P1
○各部名称	P2
○設置方法	P2
○電源コードおよびリモコンコードの収納方法	P4
○リモコン操作および機能説明	P5
○緊急時の対応方法	P10
○セルフチェックモード	P11
○フィルター交換方法	P12
○停電時の使用	P12
○収納方法	P13
○運搬・保管方法	P13
○お手入れ方法	P14
○このようなときには	P15
○点検チェックシート	P18
○仕様	P19



安全にお使いいただくために

この度は当社製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。ご使用前に取扱説明書を確認の上、正しくお使いください。確認後は、本取扱説明書を大切に保管してください。また利用者様の身体状況や環境が変化した場合には、医師や看護師、福祉用具専門相談員などの専門の方に相談し適切な処置を受けてください。

安全上の注意 必ずお守りください

①利用者様や他の人への危害・財産への損害などを未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

取扱説明書に表示されている記号や用語は、表示内容を見逃し誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のような表示区分であらわしています。

⚠ 警告：死亡または重傷などを負う可能性を意味します。

⚠ 注意：障害を負うまたは物的損害を発生させる可能性を意味します。

注意：本製品の故障を防止するための注意事項や、より満足に使用していただくためのアドバイスを意味します。

②お守りいただく内容の種類を次の表示区分であらわしています。

⊘：してはいけない「禁止」を意味します。

Ⓜ：必ず実行していただく「強制」を意味します。



警告

- ① 本来の目的以外に使用しないでください。
思わぬ事故やケガをまねくおそれがあります。
- ② 使用中、体に異常を感じたり、不安を感じた場合には直ちに使用をやめ、医師や看護師、福祉用具専門相談員などの専門の方に相談してください。
- ③ 電源の電圧および許容電流値に注意してください。
本製品は国内専用AC100V、58Wです。故障や発熱による事故につながるおそれがありますので、海外での使用やタコ足配線など許容を超える接続をしないでください。
やむを得ず発電機を使用する場合は、出力波形が家庭用電源（正弦波）に近いインバータ式をご使用ください。
なお、発電機の使用による製品の故障・破損については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ④ ベッドで使用する場合は、安全のため必ずサイドレールを使用してください。
また、マットレス上面より高さ22cm未満のサイドレールは使用しないでください。
サイドレールを乗り越えて転落するおそれがあります。
- ⑤ マットレスの頭側・足側を間違えないでください。
自動体位変換の位置が変わるため、転落するおそれや、体位の崩れによる症状の悪化が起こるおそれがあります。
- ⑥ 電源プラグは確実にコンセントに接続してください。
感電や火災につながるおそれがあります。
- ⑦ 電源プラグを濡らしたり、燃えやすい物を近くに置かないでください。
感電や火災につながるおそれがあります。
- ⑧ 電源コードを無理に曲げたり引っ張ったりしないでください。
感電や火災につながるおそれや故障の原因になります。
- ⑨ タコ足配線はしないでください。
故障や発熱による事故につながるおそれがあります。
- ⑩ 熱い物の近くに置かないでください。
火災・変形・破損につながるおそれがあります。
- ⑪ ベッドや機器類のキャスターなどで電源コードやリモコンコードをはさまないでください。
感電や火災につながるおそれや故障の原因になります。
- ⑫ ベッドの背上げをした状態で、体位変換動作を行わないでください。また、体位変換動作中にベッドの背上げを行わないでください。
サイドレールを乗り越えて転落するおそれや、体位の崩れによる症状の悪化などが起きないか、安全を確認の上、使用してください。
- ⑬ マニュアルモードで「超ソフト」や「除圧重視」を使うときは、ベッドの背上げをしないでください。
お尻の圧が高くなる原因となります。
- ⑭ マットレスの中心からずれて使用しないでください。
本来の性能が発揮されず、思わぬ事故の原因になります。やむを得ない場合は、除圧効果や体位の崩れなど安全を確認の上、使用してください。
- ⑮ エアポンプやリモコンに水やその他液体をかけたり、濡れた手で触ったりしないでください。
感電や故障につながるおそれがあります。
- ⑯ 電源プラグのほこりなどを放置しないでください。
感電や火災につながるおそれがあります。
- ⑰ エアポンプやリモコンの改造はしないでください。
発火や異常動作などにより事故やケガをするおそれがあります。
- ⑱ 体位変換機能を使用する場合は、利用者様周辺および取り付けであるコードやチューブなどにかまったり、引っ張られるような負荷を掛けたりしないでください。
思わぬ事故やケガをまねくおそれがあります。
- ⑲ 電源プラグを挿したまま、エアポンプをお手入れしたり長期間放置しないでください。
感電・火災・故障の原因になります。



注意

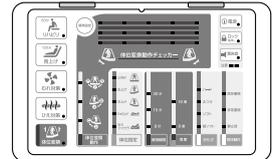
- ① 本製品の上に厚手のマットレスやパッドを使用しないでください。
本来の性能が発揮されず、思わぬ事故や故障の原因になります。
- ② オスカーのマットレスとエアポンプに他の製品を組み合わせ使用しないでください。
本来の性能が発揮されず、思わぬ事故や故障の原因になります。【ハイブリッドタイプ】と【エアタイプ】は互換性がありません。
- ③ むれ対策で多汗症（疾病により汗が多い）の方は、気化熱により体温が低下する場合がありますのでご注意ください。
むれ対策は、エアマットレス特有の弱点を対策するための製品仕様の一部で、温度調整機能や冷房機能ではありません。
- ④ 使用する室内環境（室温や湿度）や利用者様の体調・体質（汗や体温）の違いにより、寝床内温度が変化しますのでご注意ください。
- ⑤ 他の暖房器具を併用する場合は、やけどや低温やけどにご注意ください。
- ⑥ 発汗による脱水症状にご注意ください。
ひえ対策は、エアマットレス特有の弱点を対策するための製品仕様の一部で、温度調整機能や暖房機能ではありません。
体や寝床を温める必要がある場合は、別途暖房手段をとってください。ひえ対策の効果が出るのは、布団をかけていることが条件となります。
低温やけどは一般的に40℃、2時間以上で症状が出ると言われております。

注意

- ① マットレスの上や下に突起物を置かないでください。
マットカバーの破れなどの原因になります。
- ② リモコンコードを無理に曲げたり引っ張ったりしないでください。
破損するおそれがあります。
- ③ リモコンやマットレスを落下させたり、ぶつけたりしないでください。
エアポンプやリモコンの故障や損傷、寿命低下の原因になります。
- ④ マットレスを持ち運ぶ場合や保管時には、電源コードとリモコンを電源コード・リモコン収納ポケットにおさめてください。
落下やほこり、静電気などにより故障するおそれがあります。
- ⑤ 浴室付近や湿気が多い場所での使用および保管はしないでください。
サビ・カビの発生や故障の原因になります。
- ⑥ メンテナンス目的以外でマットレスを分解しないでください。
破損や故障などの原因になります。
- ⑦ フィルター交換の目安は1年となります。
フィルターが目詰まりすると、エアポンプの性能が低下したり、寿命が短くなるおそれがあります。
- ⑧ マットレスへの荷重は150kgまでです。
150kgを超えると、マットレスの破損や故障の原因になります。
- ⑨ 【オスカー メディカル】のリモコンは、【オスカー Aタイプ・Bタイプ】とは異なります。
本誌は【オスカー メディカル】のリモコンについて記載しています。
【オスカー Aタイプ・Bタイプ】のリモコンの場合は、モルテン健康用品事業本部Webサイトから取扱説明書をダウンロードしてください。
URL:<https://www.molten.co.jp/health/>

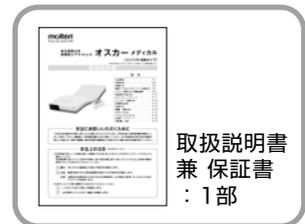
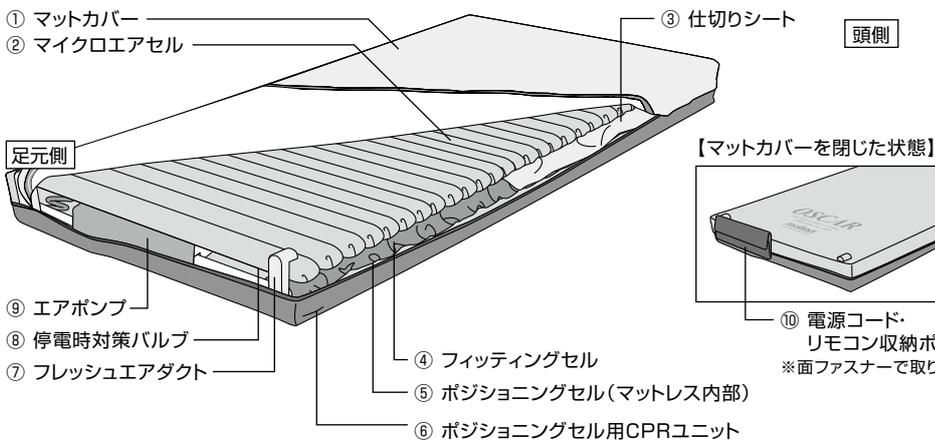


取扱説明書



各部名称

以下の部品が全てそろっているか、破損・変形などしていないかを確認してください。
万が一、部品の不足・破損があった場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

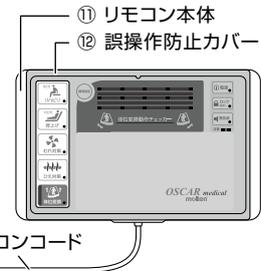


取扱説明書
兼 保証書
: 1部



【マットカバーを閉じた状態】

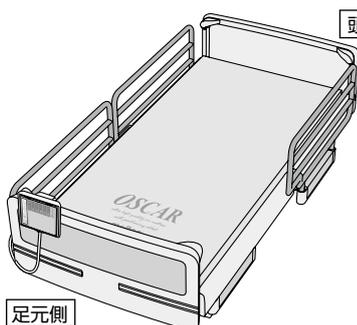
⑩ 電源コード・
リモコン収納ポケット
※面ファスナーで取り付け



⑪ リモコン本体
⑫ 誤操作防止カバー
⑬ リモコンコード

設置方法

1 マットレス(エアポンプ内蔵)を設置します。



① 頭側 ベッドの上に直接マットレスを置いてください。



警告

- ① 安全のため必ずサイドレールを使用してください。
- ② マットレスは必ず頭側と足元側を確認し設置してください。
また、マットレスの表と裏を逆にして使用しないでください。
音や振動が伝わり、寝心地を損なうおそれがあります。また、
本来の性能が発揮されず、症状の悪化や思わぬ事故をまね
くおそれがあります。
- ③ 本製品はリプレイメントタイプ(ベースマットレス不要)です。
必ずベッドの上に直接設置してください。

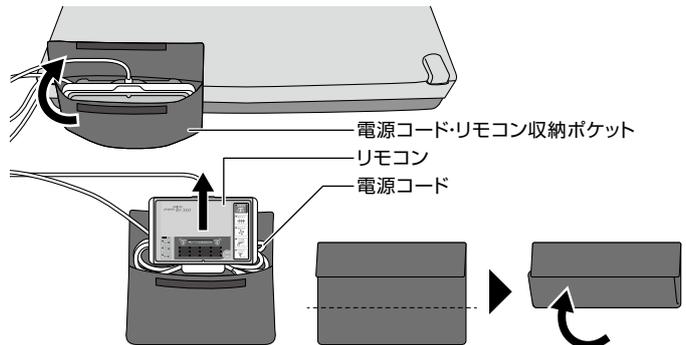
2 電源コードとリモコンを電源コード・リモコン収納ポケットから取り出します。

①電源コード・リモコン収納ポケットから電源コードとリモコンを取り出してください。

②取り出した後は、電源コード・リモコン収納ポケットを図のように折りたたんでください。

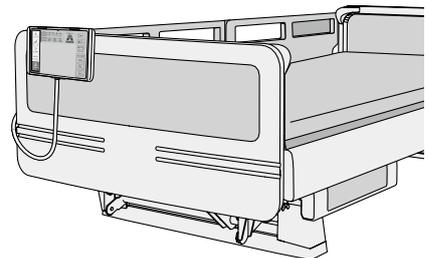
※電源コード・リモコン収納ポケットは、紛失しないためにもマットカバーから取り外さず使用してください。

※ファスナーを開け閉めする場合は、インナー保護フィルムを挟み込まないよう注意してください。

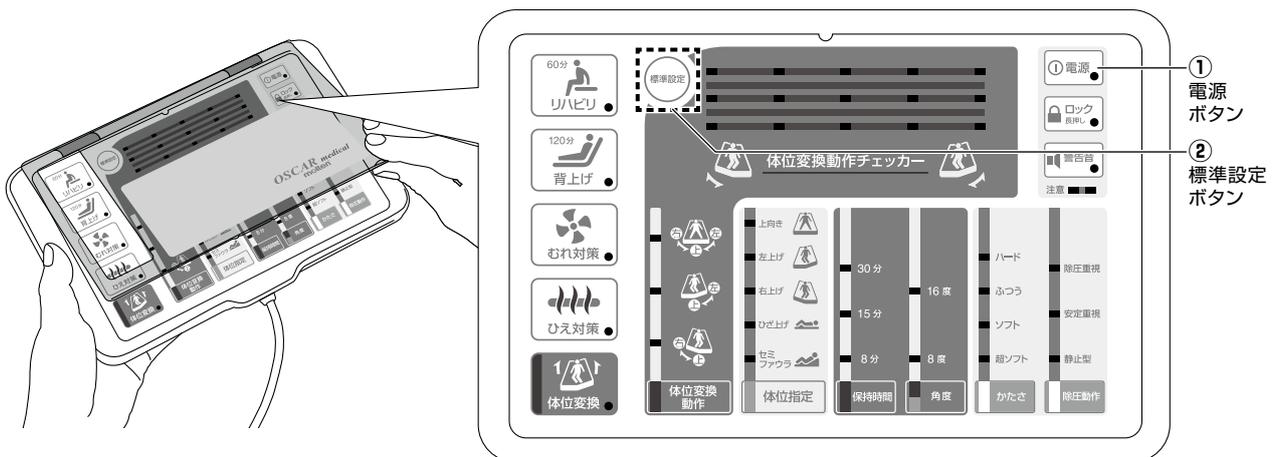


3 リモコンをフットボードに掛けます。

リモコン上部の吊り下げフックを、ベッドのフットボードに掛けてください。



4 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れてください。



①電源プラグをコンセントに差し込み、リモコン上面の誤操作防止カバーを開き、電源ボタンを押してください。

②リモコンの「標準設定」ボタンを押し、マットレスを最適な状態に自動設定します。

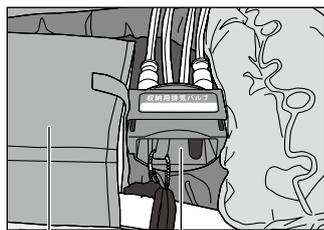
※詳しい設定方法はP6を参照してください。

※マイクロエアセルは約8分で空気がいっぱいになります。

① 使用中は必ず電源プラグをコンセントに差したままにしておいてください。

①収納用排気バルブを閉めてください。

注意

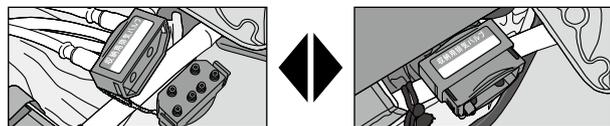


エアポンプ 収納用排気バルブ

収納用排気バルブが開いているとエアセルに空気が入らず注意ランプが点滅します。

① 「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

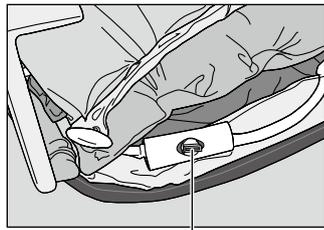
② 使用中は絶対に開かないでください。



設置方法

② 停電時対策バルブを開いてください。

⚠ 注意

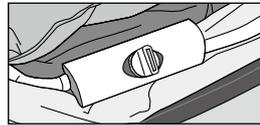


停電時対策バルブ

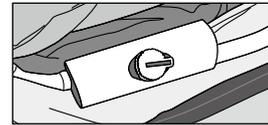
閉じたままご使用になると、エアセルに空気が入らず注意ランプが点滅します。

ⓐ このバルブは、3時間以上停電となる場合のみ閉じてください。

【閉じた状態】



【開いた状態】



5 シーツを取り付けて完成です。

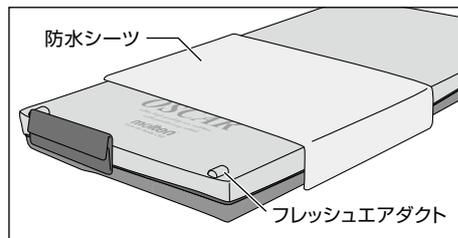
基準シーツ ……フレッシュエアダクトごと覆い、シーツの端を巻き込んでください。

ボックスシーツ ……フレッシュエアダクトごとマットレス全体を包み込むようにかぶせてください。

防水シーツ ……フレッシュエアダクトを覆わないように取り付けてください。

フレッシュエアダクトから空気が出ず、送風機能が発揮されません。

【防水シーツの場合】



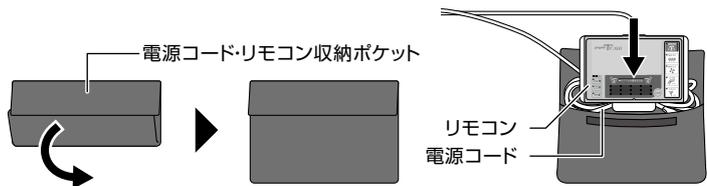
フレッシュエアダクトを覆わないでください。

※基準シーツ、ボックスシーツおよび防水シーツは付属していません。

電源コードおよびリモコンコードの収納方法(長期間使用しない場合)

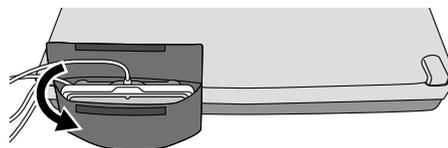
① 折りたたんでいる電源コード・リモコン収納ポケットを広げてください。

※電源コード・リモコン収納ポケットは、紛失しないためにもマットカバーから取り外さず使用してください。

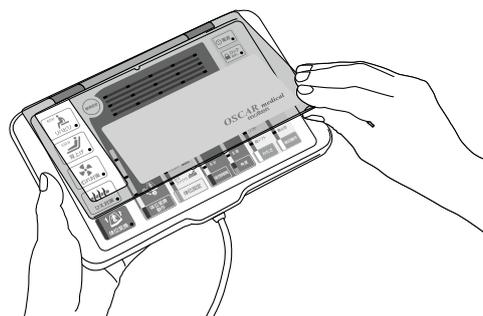
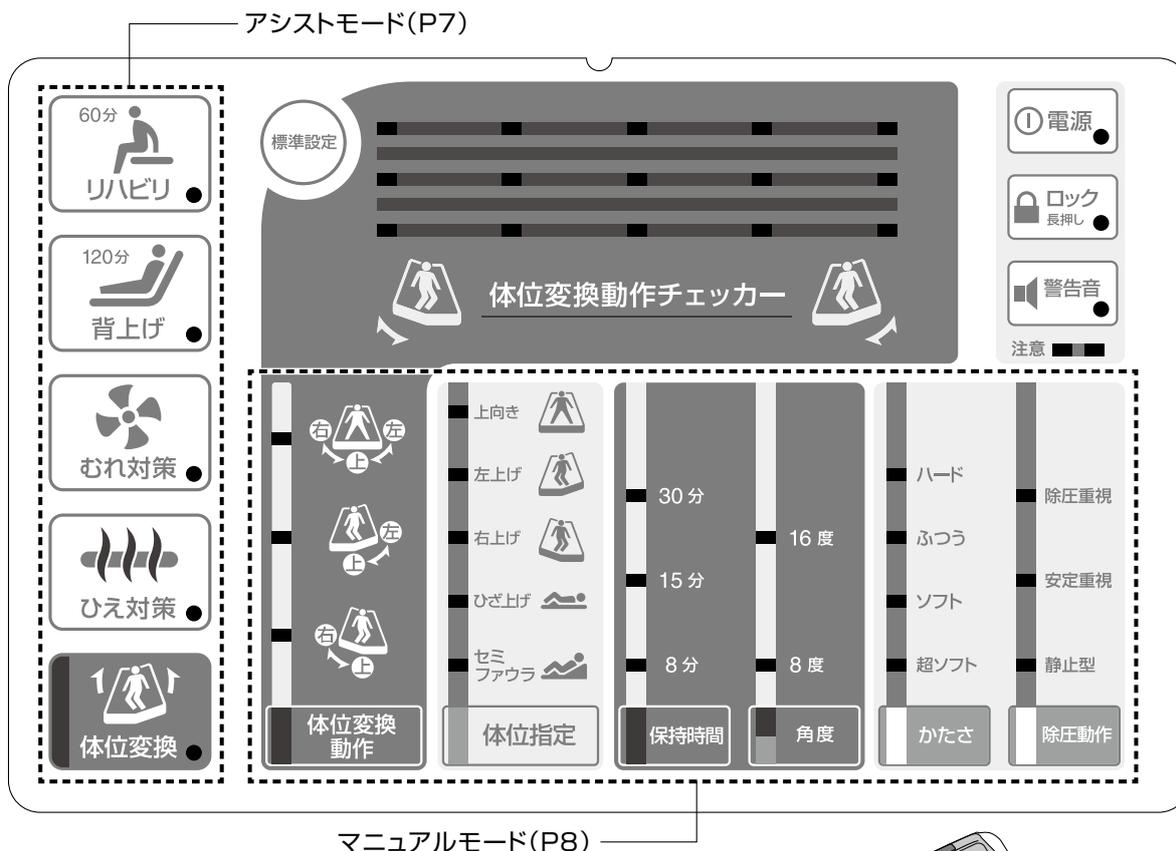


② 電源コードとリモコンを電源コード・リモコン収納ポケットにおさめてください。

※ファスナーを開け閉めする場合は、インナー保護フィルムを挟み込まないよう注意してください。



リモコン操作および機能説明



使い始め

電源



電源ボタンを押すと電源が入り、リモコン各部のLEDランプが点灯します。

もう一度押すと電源は切れます。

※再度電源を入れ直した場合は、前回の設定状態となります。停電の場合も同様に、停電前の設定状態となります。

注意ランプと警告音



注意

マットとポンプの異常をLEDランプの点滅と警告音でお知らせします。(P16、P17参照)

※警告音【入】後、操作音がかして警告音が発動する状態になります。

※出荷時は【入】になっています。音が出ない設定にする場合は、【切】にしてください。(LEDランプが消灯します)

操作ロック



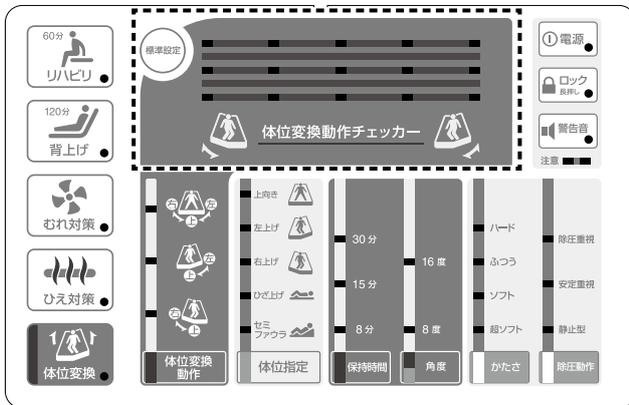
認知症の人などによる誤操作を防止するために、リモコンのボタン操作ができないようにロックすることができます。

※ボタンを長押しすると操作ロックの設定・解除ができます。

※LEDランプが点灯しているとロックの状態です。

体位変換動作チェッカー

体位変換動作をLEDで表示します。



注意 体位変換の設定を変更すると、安全のため動作に3分程度かかる場合があります。(体位変換動作チェッカーも連動します)

【対象ボタン】



【LED表示例】

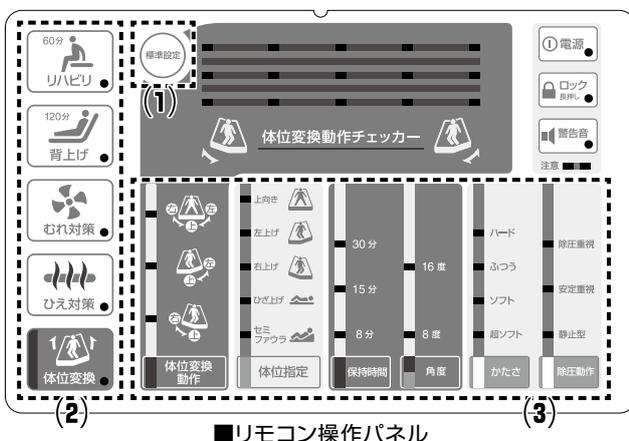
設定	LED
	 【左右交互】に表示します。
	 【左側のみ】に表示します。
	 【右側のみ】に表示します。
上記以外	消灯します。

※体位変換動作中に、リハビリボタンまたは背上げボタンを押した場合は、マットレスを上向きにするために、体位変換動作チェッカーは非表示になります。

LEDは、次の方法で「表示」「非表示」を切り替えることができます。

- ①電源をオフ【切】にします。
 - ②【体位変換動作】ボタンを押しながら【電源ボタン】を押します。
【電源】【注意】ランプが点滅し、体位変換動作チェッカー表示／非表示切り替えモードがスタートします。
 - ③【体位変換動作】ボタンを押すたびに、表示／非表示を切り替えることができます。
表示の場合：【右⇄上⇄左】ボタンが点灯し、体位変換動作チェッカーが【右上げ】⇄【左上げ】を表示します。
非表示の場合：【右⇄上】ボタンが点灯し、体位変換動作チェッカーは何も表示されません。
 - ④体位変換動作チェッカー表示／非表示切り替えモードを終了する場合は、電源をオフ【切】にします。
- ※切り替えモード中に電源プラグをコンセントから抜いた場合は、設定が反映されません。

各種設定方法



■リモコン操作パネル

(1)標準設定

リモコンの「標準設定」ボタンで、利用者様の身体状況に最適な設定にすることができます。

(2)アシストモード

日常生活をアシストするためのモード設定ができます。

(3)マニュアルモード

マットレスの動作をお好みに合わせて設定できます。必要に応じて設定してください。

(1)標準設定

※オスカーをご使用になる前に、必ず設定してください。



マットレスが以下の設定になります。

- 体位保持=上向き
- かたさ=ソフト
- 除圧動作=安定重視
- 体位変換=OFF

リモコン操作および機能説明

(2)アシストモード

リハビリ マットレス上でのリハビリやおむつ交換や着替えなどの介助をするときに使用します。



マットレスのふわふわ感を解消して、リハビリや介護がしやすいかたさになります。
体位変換実施時はマットレスが上向きになります。

※動作中はLEDランプが点灯します。
※約60分でもとのマットレス状態に戻ります。(LEDランプは消灯します)【切】後、圧抜き動作が作動します。

背上げ ベッドを背上げするときに使用します。
マニュアルモードで「超ソフト」や「除圧重視」を使うときはベッドの背上げをしないでください。



マットレスの安定性を高め、背上げ姿勢をサポートします。
体位変換実施時はマットレスが上向きになります。

※動作中はLEDランプが点灯します。
※約120分で【背上げ】が自動で解除されます。(LEDランプは消灯します)
【入】後、背抜き動作が作動します。【切】後、圧抜き動作が作動します。
自動で解除後は安全のため、必ず【上向き】になります。体位変換が必要な場合は、再度選択してください。
※手で【切】後は、もとのマットレス状態に戻ります。
※マットレスが背上げする機能ではありません。
※120分以上継続してベッド背上げを行う場合は、120分以内に背上げモードボタンを押し直すか、都度ボタン操作を行えない場合は、マットレスかたさを1段かたい設定にしてください。

むれ対策 寝床内の湿度が高く、身体がむれそうなときに使用します。



室温と同じ乾いた空気を足元側から送って寝床内の湿った空気を換気することで、寝床内の「むれ」を対策します。断続運転で足元側から送風をします。

※動作中はLEDランプが点灯します。(30分動作・15分停止の断続運転、LEDランプは常時点灯します)
※体を冷やすための冷房機能や温度調整機能ではありません。
※気温や湿度が低い時は【切】にしてください。

ひえ対策 寝床内の温度が低い(マットレスの表面が冷たい)ときに使用します。



エアセルが冷たい外気で冷やされないように、常温(32℃程度)に維持することで、寝床内の「ひえ」を対策します。マットレス内部からマットレス表面を常温(32℃程度)に維持します。

※動作中はLEDランプが点灯します。(32℃程度を保つよう、連続動作します)
※体を温めるための暖房機能や温度調整機能ではありません。
※ひえ対策で常温維持される範囲は、ヒーターが内蔵されている足元側(マットレスの1/2の範囲)です。
※気温や湿度が高い時は【切】にしてください。

体位変換【入】



自動体位変換を行います。(設定した動作を繰り返し行います)

※【入】の時はLEDランプが点灯します。
※標準設定では以下の設定となります。
●角度=16度
●保持時間=約8分(3体位変換)
※角度について、円背や下肢拘縮によって傾きやすい人や、初めての使用で不安な人の場合は、【8度】の設定で使用することをお勧めします。

【適応】●自分ではうまく体位変換できない。 ●家族が留守にする間、自動体位変換にしたい。
●睡眠を妨げないように、夜間は自動体位変換にしたい。

体位変換【切】



【体位指定ボタン】で指定した体位になります。

※【切】の時はLEDランプが消灯します。

【適応】●昼間は家族で体位変換したい。 ●好みの体位に変換したい。
●自動体位変換を止めたい。



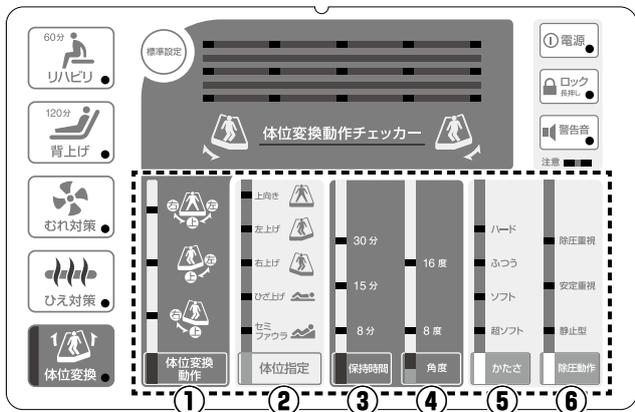
警告

ベッドの背上げをした状態で、体位変換動作を行わないでください。また、体位変換動作中にベッドの背上げを行わないでください。
※サイドレールを乗り越えて転落するおそれや、体位の崩れによる症状の悪化などが起きないか、安全を確認の上、使用してください。

(3) マニュアルモード

※設定変更が必要な場合のみ操作してください。

①「体位変換動作」②「体位指定」③「保持時間」④「角度」⑤「かたさ」⑥「除圧動作」の各項目を手動で設定することができます。



①体位変換動作	3種類
②体位指定	5種類
③保持時間	3段階
④角度	2段階
⑤かたさ	4段階
⑥除圧動作	3種類

※指定した設定のLEDランプが点灯します。

① 体位変換動作

自動体位変換の「動作(パターン)」を手動で設定します。かたむく方向は利用者様側から見た方向になります。

※体位変換を行う4つのポジショニングセルは、それぞれひとつずつ動作を行います。

動作は【右上げ】⇄【上向き】⇄【左上げ】の3体位変換を繰り返し行います。

動作は【上向き】⇄【左上げ】の2体位変換を繰り返し行います。

動作は【右上げ】⇄【上向き】の2体位変換を繰り返し行います。

② 体位指定

仰臥位や左右の側臥位だけではなく、「セミファウラー位」「ひざ上げ」に対応し、おむつ交換や口腔ケア、安楽姿勢など、目的に合わせて指定の体位にすることができます。

※体位変換動作チェッカーは表示されません。

通常のマットレスの状態にしたい場合は、こちらを選択してください。常に上向きの状態になります。

利用者様の左手側を体位保持したい場合は、こちらを選択してください。常に左上げの状態になります。

利用者様の右手側を体位保持したい場合は、こちらを選択してください。常に右上げの状態になります。

利用者様に軽度のひざの曲がりがある場合は、こちらを選択してください。常にひざ上げの状態になります。

常にセミファウラー位で安楽姿勢の状態になります。



警告

ベッドの背上げをした状態で、体位変換動作を行わないでください。また、体位変換動作中にベッドの背上げを行わないでください。

※サイドレールを乗り越えて転落するおそれや、体位の崩れによる症状の悪化などが起きないか、安全を確認の上、使用してください。

リモコン操作および機能説明

③ 保持時間

自動体位変換で体をかたむける時間の設定を行います。

※利用者様の体重や体型などにより多少時間の変動があります。

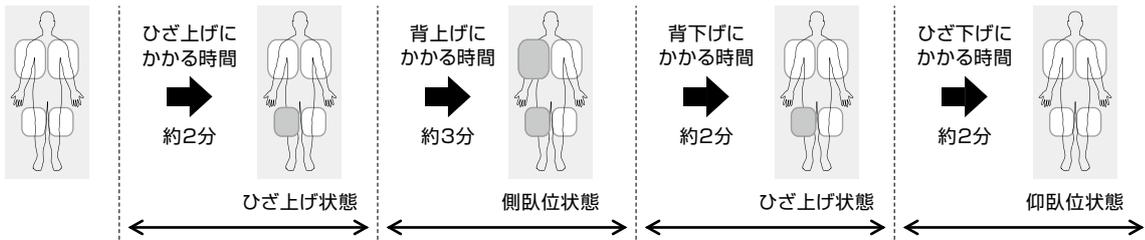
保持時間

保持時間は8分、15分、30分の3段階に設定することができます。利用者様の身体状況に合わせて、最適な時間を設定してください。

※下の表の太枠内の時間が設定できます。

●自動体位変換の動きと所要時間

○：ふくらむセル



設定	① ひざ上げにかかる時間 +ひざ上げ状態	② 背上げにかかる時間 +ひざ・背上げ状態	③ 背下げにかかる時間 +ひざ上げ状態	④ ひざ下げにかかる時間 +上向(仰臥位)状態	①～④ 所要時間
30分	5分	30分	5分	30分	約70分
15分	5分	15分	5分	30分	約55分
8分	5分	8分	5分	30分	約48分

※条件により、時間は若干変動します。

※上記の①～④所要時間は【上向】⇔【右上】もしくは【上向】⇔【左上】にかかる時間です。

【右上】⇔【左上】の体位変換にかかる時間は、【上向】⇔【右上】と【上向】⇔【左上】を合わせた時間となるため、①～④の2倍の時間となり、【設定30分/140分】【設定15分/110分】【設定8分/96分】となります。

④ 角度

自動体位変換と体位指定の角度を設定します。

角度

角度は8度、16度の2段階に設定することができます。利用者様の身体状況に合わせて、最適な角度を設定してください。

※利用者様の体重・体型により、角度が変動する場合があります。

※円背や下肢拘縮によって傾きやすい人や、初めての使用で不安な人の場合は、【8度】の設定でを使用することをお勧めします。

⑤ かたさ

かたさ

マットレスのかたさの設定を行います。

ハード

離床やリハビリで安定感が必要な方や、柔らかすぎるマットレスが合わない方はこちらを選択してください。

ふつう

各種臥位において体を保持します。

ソフト

オスカーの標準的な(おすすめの)設定です。

ふつうよりも低圧で体を保持します。

超ソフト

体位変換やベッドの背上げができない方、絶対安静の方などはこちらを選択してください。
ソフトよりさらに低圧で体を保持します。

⑥ 除圧動作

除圧動作

マットレスの除圧動作の設定を行います。

リモコン操作および機能説明

除圧重視

絶対安静時など体位変換が行えない場合で、せめて圧切替だけでもしっかりと行いたい方はこちらを選択してください。
ベッド背上げ時は使用しないでください。
身体の50%をマイクロエアセルで支え、残りの50%で除圧を行います。
※約5分間隔で2つの動作を繰り返します。

安定重視

オスカーの標準的な(おすすめの)設定です。
安定感を重視したい、なるべく圧切替の動きを抑えたいという方はこちらを選択してください。
身体の75%をマイクロエアセルで支え、残りの25%で除圧を行います。
※約5分間隔で4つの動作を繰り返します。

静止型

除圧動作をせず、マイクロエアセル全体が均等なかさとなります。
除圧動作が気になる方はこちらを選択してください。

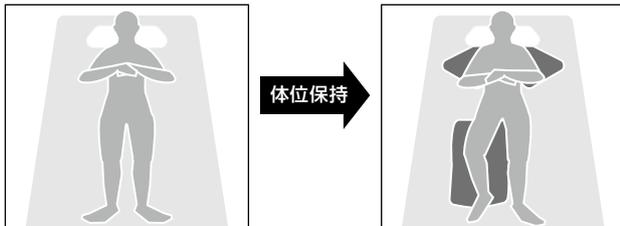
ポジショニングケアのポイント

- ①接触面積を増やすため、身体とマットレスの隙間をポジショニングクッションで埋めます。
- ②しっかりと保持できているか確認するため、すき間に手が入るかどうか確認します。
- ③皮膚の突っ張り感や衣類のしわをなくするため、ポジショニンググローブで圧抜きをします。

※自動体位変換を行う場合は、ポジショニングクッションがずれないことを確認してください。

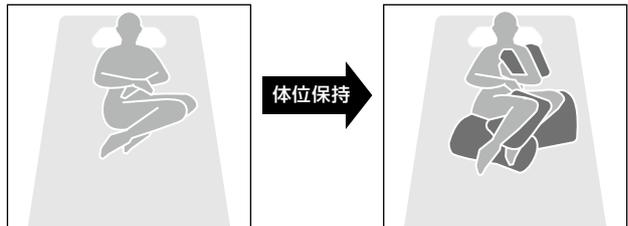
※ポジショニングケアとは「体位変換」+「体位保持」であり、体位を入れ換える除圧のための「体位変換」と体圧分散向上のための「体位保持」は別です。

事例①【円背と右ひざ拘縮の利用者様】



- ①左右両方の肩の下に入れます。
- ②頭部から頸部の下に入れます。
- ③右ひざの下に入れます。

事例②【上肢下肢拘縮と体軸ねじれの利用者様】



- ①左腕の下と胸との間に入れます。
- ②ねじれを示す方向に、左脚の下に入れます。
- ③右脚の下に入れます。
- ④左脚と右脚の間に入れます。

設定のポイント

拘縮や変形がある人は、体圧分散を向上するために、ポジショニングクッションによる体位保持が必要です。

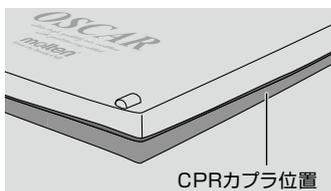
その場合は、**かたさ**【ふつう】または【ハード】、**除圧動作**【静止型】または【安定重視】に設定することで、安定して体位保持しやすくなります。

※自動体位変換を行う場合は、低い角度から行い、身体に負担がかかっていないことを確認してください。

緊急時の対応方法

マットレスがフラットな状態であれば、そのまま心臓マッサージを行うことができます。柔らかさが気になる場合は、リハビリモードを【入】または心肺蘇生用のボードを挿入してください。心臓マッサージや体位変換中に停電した場合は、以下の方法でポジショニングセルの空気をすばやく抜くことができます。

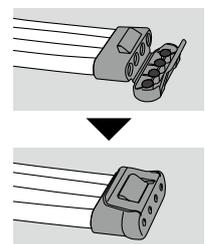
マットレスをすばやくフラットにする方法



CPRカバー位置

足元側から見て右側のシートをめくり、CPR表示ラベルそばにある赤いCPRカバーを、取っ手を持って開けてください。約20秒で空気が抜けます。

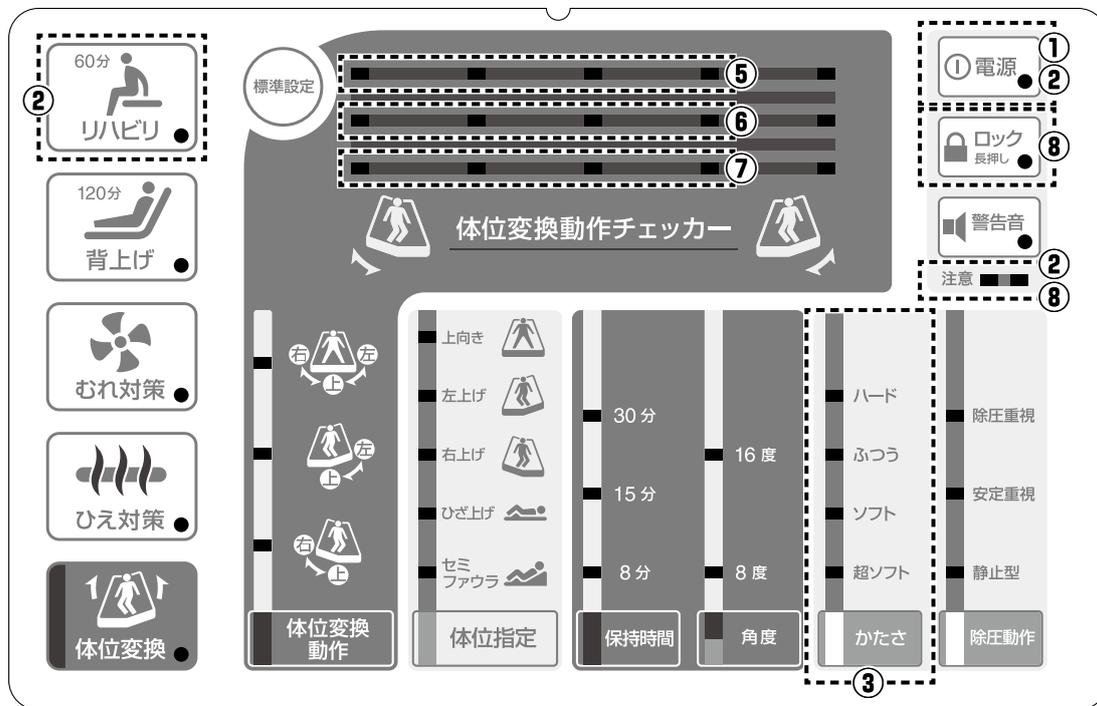
再度使用する場合は、「カチッ」と音がするまで閉めてください。



セルフチェックモード

簡単な定期点検として、リモコンの所定ボタンを押すと、各部(エアもれ、ヒーター、各種センサーなど)の点検を自動で行います。(所要時間：約50分)

注意 セルフチェックを行う場合は、ベッド・マットレス共にフラットにし、利用者が寝ていない状態で行ってください。



操作方法とチェック内容

①電源をオフ【切】にします。

② ボタンを押しながら、 ボタンを押します。

注意 LEDランプが点滅し、セルフチェックモードがスタートします。

③最初にエアポンプのチェックを行います。チェック中は の【ハード】⇒【ふつう】⇒【ソフト】⇒【超ソフト】の順にLEDランプが点灯します。

※③で異常がある場合は、その箇所の表示ボタンのLEDランプが点滅し、そこでセルフチェックは終了となります。

④次にエアマットのエアもれチェックを行います。

⑤マイクロエアセルのチェック中は、体位変換動作チェッカーの1列目のLEDランプが左から順に4つ目まで点灯します。

⑥フィッティングセルのチェック中は、体位変換動作チェッカーの2列目のLEDランプ左から4つ全てが点灯します。

⑦ポジショニングセルのチェック中は、体位変換動作チェッカーの3列目のLEDランプが左から順に4つ目まで点灯します。

⑧すべてのチェックで異常が無い場合は、 ボタンのLEDランプが点滅し、**注意** ランプは2個とも点灯

した状態になります。(ボタンのLEDランプは点滅したままになります)

※④以降で異常がある場合は、異常がある部位の表示ボタンのLEDランプが点滅したまま次の表示へと切り替わります。

⑨セルフチェックを終了または中止する場合は、電源をオフ【切】にします。

セルフチェックモード

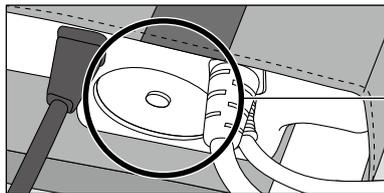
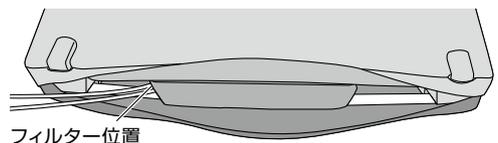
異常時のLEDランプ点滅箇所と不具合の内容

表示ボタン	LEDランプ表示	不具合内容
かたさ	ハード	内蔵モーターなどの異常
	ふつう	
	ソフト	エアポンプまたは圧力センサーの異常
	超ソフト	ヒーターの異常
体位変換動作チェッカー	1列目	マイクロエアセルまたはエアホースの異常
	2列目	フィッティングセルまたはエアホースの異常
	3列目	ポジショニングセルまたはエアホースの異常

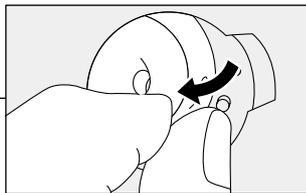
フィルター交換方法

フィルターの交換時期：1年

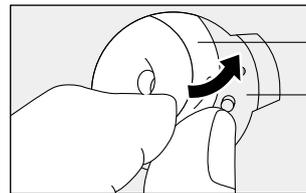
汚れがひどい場合は、新品と交換してください。汚れが少ない場合は、掃除機やエアガンなどで汚れを取り除き再使用することができます。



① マットカバーを開き、エアポンプが見えるようにします。



② フィルターの端をつまみ、取り外します。



③ 新しいフィルターをフィルター穴に取り付けます。

フィルター
フィルター穴

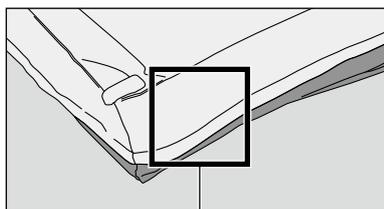


注意

専用のフィルターを使用してください。1年に1回は、必ず汚れなどのチェックが必要です。
※専用フィルターに関しては販売店にご相談ください。

停電時の使用

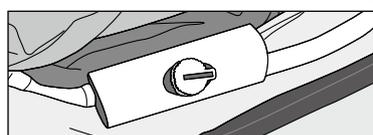
3時間以上停電となる場合は、マットカバーを開き、停電時対策バルブを閉じてください。
体重・体型にもよりますが、停電後2週間程度は空気を維持する事ができ、底着きを防止できます。



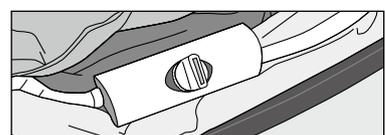
停電時対策バルブ位置(マットカバー内)

停電復旧後は必ず停電時対策バルブを開いてください。
(正常に動作しているかを確認してください)

【停電時対策バルブが開いている状態】



【停電時対策バルブが閉じている状態】

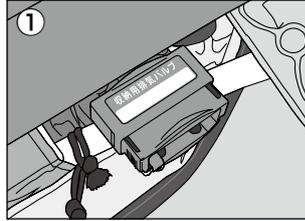


収納方法

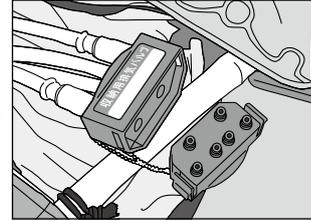


エアポンプ

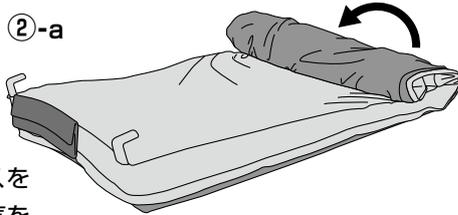
収納用排気バルブ



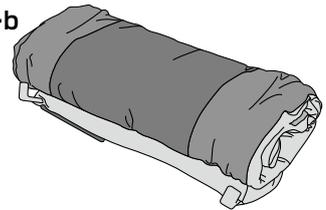
①エアポンプの右側にある収納用排気バルブを開いてください。



②-a

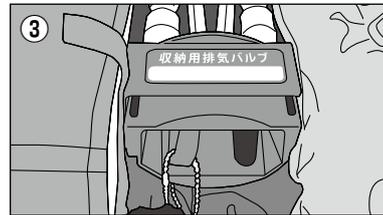


②-b

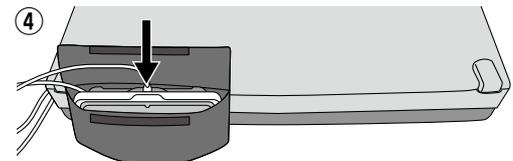


②空気が半分以上抜けたら、マットレスを頭側からカバーごと丸めてたたみ、空気を抜きます。
(右図②-bより小さく折りたたまないでください。
エアホースなどが折れるおそれがあります)

③マットレスをたたみ終わったら、収納用排気バルブを必ず閉じてください。



④電源コードとリモコンを電源コード・リモコン収納ポケットにおさめてください。(P4参照)



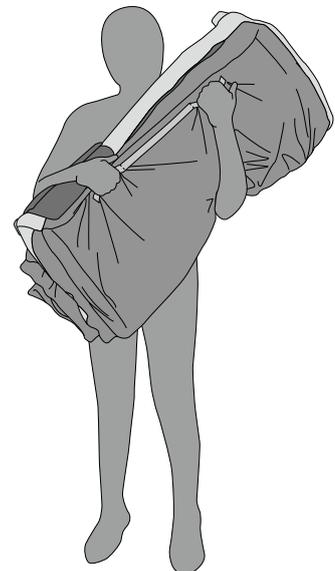
運搬・保管方法

運搬する場合は、右図のように取っ手を持ってください。

注意

浴室付近や湿気の多い場所での使用および保管はしないでください。
※サビ・カビの発生や故障の原因になります。

- ⊙ 内部のエアセルやエアホースの破損につながるおそれがあるので、マットカバーの表側を持って運搬しないでください。
- ⊙ エアホースが抜けるおそれがあるので、マットカバー裏側にあるエアホースを持って運搬しないでください。
- ⊙ 変形や破損のおそれがあるので、重量物を上に置いたまま保管しないでください。
- ⓪ 材質や色が変わるおそれがあるので、直射日光の当たらない場所で保管してください。
- ⓪ 電源コードとリモコンを電源コード・リモコン収納ポケットにおさめてください。
- ⓪ 変形や破損のおそれがあるので、運搬・保管の際には落下させたり衝撃が加わらないよう十分に注意してください。
- ⓪ 電源コード・リモコン収納ポケットがマットカバーに面ファスナーでしっかりとめてあること、および開口部の面ファスナーがとめてありリモコンが出てこないことを確認してください。



お手入れ方法

汚れの落とし方

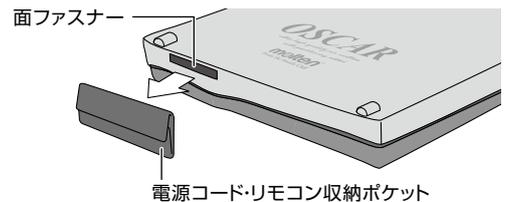
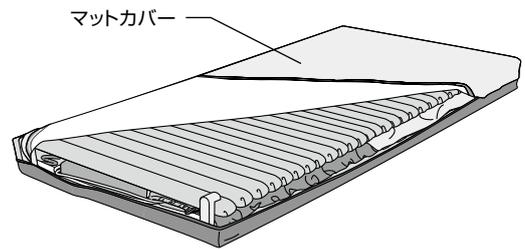
汚れが少ない場合は、マットカバーおよび電源コード・リモコン収納ポケット表面を市販の中性洗剤やアルコールを布に含ませて清拭してください。

汚れがひどい場合は、マットカバー上部または全体および電源コード・リモコン収納ポケットを取り外し、洗濯機などで丸洗い洗浄してください。

洗浄後は乾燥機による乾燥または陰干ししてください。

※マットカバーとエアポンプを取り外してください。

- ⊗ マイクロエアセル・フィッティングセル・ポジショニングセル・エアポンプ・リモコンなどの内部構成部品は洗浄しないでください。
- ⊗ シンナーやベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- ⊗ 酸性洗剤は素材を傷めるおそれがあるので使用しないでください。
- ⊗ 漂白剤は色落ちや変色の原因になるので使用しないでください。
- ⊗ マットカバーおよび電源コード・リモコン収納ポケットが縮むおそれがあるのでドライクリーニングはしないでください。
- ⓪ マットカバーおよび電源コード・リモコン収納ポケットを洗濯機で洗う場合は、キズが付くおそれがあるのでネットを使用してください。
- ⓪ マットカバーおよび電源コード・リモコン収納ポケットを洗浄・乾燥する場合は、縮むおそれがあるので必ず80℃以下で行ってください。
- ⓪ 塩素系洗剤を使用する場合は、表示の注意事項および濃度を確認し希釈して使用してください。
濃度が高い場合は、マットカバーが変色するおそれがありますので注意してください。

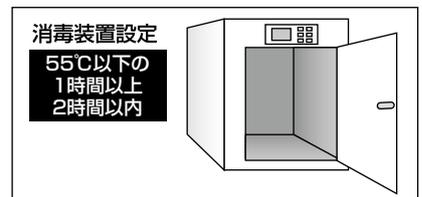


消毒のしかた

消毒薬やアルコールを噴霧または布に染み込ませて清拭してください。

消毒装置を使用する場合は、分解せずそのままの状態でおもて面を上にして装置に入れてください。温度設定は《55℃以下の1時間以上2時間以内》に設定してください。

装置に入れるときは電源プラグを抜き、電源コードとリモコンは電源コード・リモコン収納ポケットにおさめてください。



- ⊗ マットレスを消毒装置に入れる場合は、変形や破損のおそれがあるので、55℃以上の温度にしないでください。
- ⊗ マットレスを消毒装置に入れる場合は、サビやカビの発生や故障の原因になるので、蒸気などの水分が残る消毒は行わないでください。

お手入れ後の保管

- ⊗ 変形や破損のおそれがあるので、重量物を上に置いたまま保管しないでください。
- ⓪ 電源コードとリモコンを電源コード・リモコン収納ポケットにおさめてください。
- ⓪ カビなどが発生するおそれがあるので、汚れを取り除き、よく乾燥させてから保管してください。
- ⓪ 材質や色が変化するおそれがあるので、直射日光に当たらない場所で保管してください。
- ⓪ 変形や破損のおそれがあるので、保管の場合は、衝撃が加わらないよう十分に注意してください。
- ⓪ 電源コード・リモコン収納ポケットがマットカバーに面ファスナーでしっかりとめてあること、および開口部の面ファスナーがとめてありリモコンが出てこないことを確認してください。

このようなときには

現象	確認方法	処置
マットレスがふくらまない 柔らかすぎる 体が沈み込んでしまう	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの電源ボタンを押してください。(P3参照)
	エアホースが外れていませんか？	エアポンプおよびエアマットレスをつなぐエアホースを確認し、抜けている場合は、差し直してください。
	エアホースが折れていませんか？	エアホースを交換してください。
	かたさ設定が【超ソフト】【ソフト】になっていませんか？	リモコンでかたさを【ふつう】または【ハード】に設定してください。(P9参照)
	収納用排気バルブが開いていませんか？	収納用排気バルブを閉じてください。(P3参照)
	停電時対策バルブが閉じていませんか？	停電時対策バルブを開いてください。(P4参照)
マットレスがかたすぎる	リハビリモードを設定していませんか？	リハビリモードを解除してください。(P7参照)
	背上げモードを設定していませんか？	背上げモードを解除してください。(P7参照)
	かたさ設定が【ハード】になっていませんか？	かたさを【ふつう】または【ソフト】など、柔らかいモードに設定してください。(P9参照)
エアポンプの音がうるさい	足元側の下にかたい物を置いていませんか？	マットレスの下からかたい物を取り除いてください。
リモコン操作ができない	操作ロックを設定していませんか？	操作ロックを解除してください。(P5参照)
	リモコンのLEDランプが消えていませんか？	電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの電源ボタンを押してください。(P3参照)
寝床内が寒い	ひえ設定が【切】になっていませんか？	ひえ設定を【入】にしてください。(P7参照)
	むれ設定が【入】になっていませんか？	むれ設定を【切】にしてください。(P7参照)
	リモコンの注意ランプと【ひえ】設定のLEDランプが同時に点滅していませんか？	お求めの販売店または㈱モルテン健康用品事業本部 お客様窓口までご相談ください。
寝床内が暑い	ひえ設定が【入】になっていませんか？	ひえ設定を【切】にしてください。(P7参照)
	むれ設定が【切】になっていませんか？	むれ設定を【入】にしてください。(P7参照)
	フレッシュエアダクトのエアホースがカバーの中で外れていませんか？	カバーを開き、中にあるエアホースを接続してください。
	フレッシュエアダクトの上に防水シートなど通気性がない物をかぶせていませんか？	フレッシュエアダクトを避けてかぶせるか、通気性のある物を使用してください。(P4参照)
ポジショニングセルがふくらまない	CPRカブラが開いていませんか？	CRPカブラを閉じてください。(P10参照)
	エアホースが折れたり抜けたりしていませんか？	お求めの販売店または㈱モルテン健康用品事業本部 お客様窓口までご相談ください。
体位変換動作チェッカーが表示されない	リハビリモードまたは背上げモードを設定していませんか？	リハビリモードまたは背上げモードを解除してください。(P7参照)
	体位変換動作チェッカーが非表示の設定になっていませんか？	体位変換動作チェッカーを表示に切り替えてください。(P6参照)

注意ランプが交互点滅する場合

注意ランプが交互点滅する場合は、エアもれや空気の流れに不具合がある可能性があります。
このようなときには、以下の項目を確認してください。

●注意ランプが交互点滅し、「体位変換動作チェッカーの1列目」のLEDランプが点滅する場合

確認箇所	現象	処置
マイクロエアセル	エアセルの一部から空気がもれていませんか？	エアもれている場合は、お求めの販売店または ㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
	エアセルの途中が変形していませんか？	変形している場合は、お求めの販売店または ㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
エアホース	マイクロエアセルやエアポンプのエアホースに抜けがありませんか？	エアホースを交換してください。
エアポンプのフィルター	フィルターが目詰まりしていませんか？	フィルターを交換してください。(P12参照)
エアポンプ	エアポンプの中から空気がもれる音が1分以上聞こえますか？	エアポンプの内部に問題がある場合、お求めの販売店または ㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。

●注意ランプが交互点滅し、「体位変換動作チェッカーの2列目」のLEDランプ全てが点滅する場合

確認箇所	現象	処置
フィッティングセル	エアセルの一部から空気がもれていませんか？	エアもれている場合は、お求めの販売店または ㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
	エアセルの途中が変形していませんか？	変形している場合は、お求めの販売店または ㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
エアホース	フィッティングセルやエアポンプのエアホースに抜けがありませんか？	エアホースを交換してください。
エアポンプのフィルター	フィルターが目詰まりしていませんか？	フィルターを交換してください。(P12参照)
エアポンプ	エアポンプの中から空気がもれる音が1分以上聞こえますか？	エアポンプの内部に問題がある場合は、お求めの販売店または ㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
収納用排気バルブ	収納用排気バルブが開いていませんか？	収納用排気バルブを閉じてください。(P3参照)

●注意ランプが交互点滅し、「体位変換動作チェッカーの3列目」のLEDランプが点滅する場合

確認箇所	現象	処置
ポジショニングセル	ポジショニングセルの一部から空気がもれていませんか？	エアもれている場合は、お求めの販売店または ㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
エアホース	ポジショニングセルにつながっているエアホースが抜けていませんか？	エアホースを差し直してください。
CRPカブラ	CPRカブラが開いていませんか？	CPRカブラを閉じてください。(P10参照)

このようなときには

●注意ランプが交互点滅し、「かたさ【ふつう】」と「角度」のLEDランプが点滅する場合

確認箇所	現象	処置
エアホース	各エアセルにつながっている エアホースが折れ曲がっていませんか？	折れ曲がっている場合は、お求めの販売店または (株)モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。

注意ランプが同時点滅する場合

注意ランプが同時点滅する場合は、エアポンプの内部に不具合がある可能性があります。
お求めの販売店または(株)モルテン健康用品事業本部お客様窓口まで修理に出してください。

LEDランプの状態	不具合内容
注意ランプ+マットかたさ【ソフト】が同時点滅	圧力センサーまたはエアポンプの異常
注意ランプ+マットかたさ【ハード】が同時点滅	フォトセンサーまたはモーターの異常
注意ランプ+マットかたさ【超ソフト】が同時点滅	ヒーターの異常
注意ランプ+【かたさ】のすべてのLEDランプが同時点滅	リモコンケーブルまたは基板関係の異常

冬季などに室温が低い場合は、エアポンプの空気流量・圧力が低くなり注意ランプが作動することがありますが、これは内蔵ポンプのゴム部品がひえたために発生する現象で故障ではありません。
電源ボタンを再度入れ直し10分以上動作させてください。

上記の処置で直らなかった場合、またはその他の現象の場合は、お求めの販売店または
(株)モルテン 健康用品事業本部 お客様窓口までご相談ください。

株式会社 モルテン 健康用品事業本部 お客様窓口
TEL(082)578-9226

〈電話による受付時間〉月曜日～金曜日／9:00～17:00 ※祝祭日、年末年始、ゴールデンウィーク、夏季休業日など弊社休業日を除く

点検チェックシート

●モニタリングの場合などに行う点検要領

1.動作の点検

注意ランプの動作		結果
1		異常あり
		異常なし
注意ランプが点滅していないことを確認します。		

CPRカブラ・収納用排気バルブ・停電時対策バルブ		結果
2		異常あり
		異常なし
①CPRカブラが開いているか点検します。 ②排気用バルブが閉じているか点検します。 ③停電時対策バルブが開いているか点検します。		

リモコンの動作		結果
3		異常あり
		異常なし
リモコン各部の動作、ボタンの異常などを点検します。異常ありの場合は、修理に出してください。		

むれ対策の動作		結果
4		異常あり
		異常なし
【むれ設定】にして、足元側のアダクトから空気が出てくるか確認します。		

2.本体各部の点検

フレッシュエアダクト部分の点検		結果
5		異常あり
		異常なし
フレッシュエアダクトが防水シートやパッドなどで隠れていないか点検します。隠れていると空気が寝具内に入らなくなる可能性があります。なお、綿シートなど通気性のあるものはダクトにかぶせてください。		

フィルターの汚れ		結果
6		異常あり
		異常なし
フィルター取付部のフィルター汚れを点検します。汚れがあれば清掃または交換します。		

リモコンコードと電源コード		結果
7		異常あり
		異常なし
コードやプラグに変形や折れなどの破損がないか点検します。異常ありの場合は、修理に出してください。		

※エアホースなどの折れや外れがないか点検してください。

仕様

オスカー メディカル(コンパクト収納タイプ)

品番 MOSCMA83(83幅レギュラーサイズ)
MOSCMA91(91幅レギュラーサイズ)

- 素材 マット：ウレタンフィルム
カバー：ウレタン合皮(防水・清拭消毒タイプ、制菌加工)
- 83cm幅レギュラーサイズ サイズ：幅83×長さ193×厚さ17cm 重量：10.0kg
- 91cm幅レギュラーサイズ サイズ：幅91×長さ193×厚さ17cm 重量：11.5kg
- 電力 AC100V 50/60Hz 58W 圧切替時間：約5分
- 電気代目安 約1.5円/日(むれ対策・ひえ対策：なし/マット除圧動作：圧切替型安定重視)
約5.5円/日(むれ対策・ひえ対策：あり/マット除圧動作：圧切替型安定重視)

- 圧切替型/静止型(切り替え可能)
- 自動体位変換機能
- リプレイメントタイプ(ベースマットレス不要)
- マット・ポンプ3年保証

開発・製造元	株式会社 モルテン
ISO9001認証取得 ISO13485認証取得 ※床ずれ防止マットレス・体動センサの設計、 製造および付帯サービスにて取得	健康用品事業本部 www.molten.co.jp/health
本製品の取扱説明書と使用方法動画は 下記QRコードからダウンロードいた できます。	東京 札幌 仙台 埼玉 名古屋 大阪 広島 福岡 製品他、各種お問い合わせは 〒733-0036 広島市西区観音新町四丁目10-97-21 TEL.082-578-9226 E-mail:health@molten.co.jp
 取扱説明書	 動画で見る製品情報
〈電話による受付時間〉月曜日～金曜日/9:00～17:00 ※祝祭日、年末年始、ゴールデンウィーク、夏季休業日など弊社休業日を除く	